ふくい嶺北連携中枢都市圏　令和６年度の主な取組状況

資料1

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

③ 地域産業振興

- ＤＸ推進等による企業価値の向上に向けた圏域内中小企業者の取組を支援するため、ＤＸ専門家を派遣し、ＤＸ計画の作成、計画に沿った取組の実施、取組後のフォローアップ等を一貫してを行う「伴走型企業コンサルティング」を行った。

<伴走型企業コンサルティング>
支援事業者:2市3事業者（福井市2、越前市1）

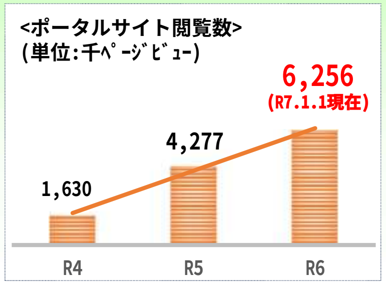
- デジタル技術を用いたＤＸ推進や人材育成を支援するため、圏域内中小企業者を対象に「ふくい企業価値向上人財育成研修会」を開催した。
圏域内から様々な特色を持った企業が集まることで、市町が単独で行う場合よりも多角的な視点を備えた研修会となり、グループワークを通した交流を効果的に行うことができた。

<ふくい企業価値向上人財育成研修会>
開催回数:6回
受講事業者:6市12事業者
（福井市3、勝山市1、鯖江市3、
あわら市1、越前市3、坂井市1 ）

【ふくい企業価値向上人財育成研修会】

⑧ 広域観光情報発信

- 嶺北エリアの情報をワンストップで取得できるポータルサイト「福いろ」により情報発信を行った。北陸新幹線福井開業や首都圏向けプロモーション等と相まって、コンテンツを強化しながら主要な観光情報を取り揃えてきた「福いろ」へのアクセスが大幅に増加した。

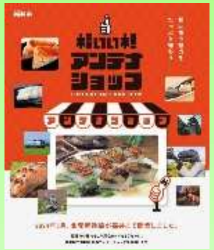


【ポータルサイト「福いろ」】

④ 販路拡大・消費拡大促進

- 北陸新幹線福井開業開業効果をさらに拡大するため、圏域内の加工品をはじめとする特産品等を広く発信する「物産展」や期間限定の「アンテナショップ」を、首都圏の百貨店等で開催し、水ようかんや油あげなど、圏域市町の名産品をPR販売した。

<物産展> 日本橋三越 …7/3～9、来客数:5,200人
（金福・銀福すいか、越のルビー、水かんてん、油あげ、そば、羽二重餅、胡麻豆腐、「新幹線」「恐竜」コラボ商品　などを販売）
<アンテナショップ> 新宿マルイ、大宮マルイ、東京交通会館 …12～2月(25日間予定)
（水ようかん、油あげ、そば、羽二重餅、へしこ、胡麻豆腐 などを販売）



【アンテナショップ】

- 圏域内の食材や加工食品の認知度向上と販路拡大のため、物産展「おいしいふくい大博覧会」を西武福井店で開催し、圏域内41事業者の商品を販売した。
参加した事業者や市町からは、「圏域内の様々な商品が集まっており、消費者への訴求力がある」との評価や、「市町単独では予算や取扱商品に限りがあって困難な事業も、連携中枢都市圏の取組で品揃えを豊富にできる」との意見が寄せられた。

<おいしいふくい大博覧会>
…6/7～12、来客数:33,000人
参加事業者:6市町41事業者
（福井市34、越前市3、鯖江市・
あわら市・坂井市・永平寺町 各1）

【おいしいふくい大博覧会】

⑤ 農林水産物特産品販路拡大

- 農林水産物等の特産品の認知度向上・販路拡大を図るため、国際物流の拠点である沖縄県と連携して、海外に向けた「ふくいブランド」発信事業を展開した。
圏域の事業者を対象に「沖縄県連携海外商談会」を開催し、沖縄県の補助金や香港市場の特徴についての説明や、海外に輸出実績のある沖縄県の商社５社との商談会を行った。
また、日本最大級の食の国際商談会「沖縄大交易会」に出展し、圏域の食材のPRを行った。

<沖縄県連携海外商談会> …11/5
参加事業者:5市8事業者
（福井市4、大野市・鯖江市・坂井市・
越前市 各1）
<沖縄大交易会> …11/21～22
出展事業者: 4市12事業者45商品
（福井市8、鯖江市2、越前市・坂井市 各1）

【沖縄大交易会】

- 首都圏への販路開拓及び福井の食材のPRのため、「美食福井フェア」を開催し、首都圏のレストラン・バーなど88店舗で、圏域内の農林水産物や地酒などを使用したオリジナルメニューを提供した。
また、地産地消の推進のため、「越前ふくいマルシェ」をハピテラスで開催し、圏域内の農林水産物や、地元資材を使った食料品の販売や体験ワークショップ等に、昨年度の8,000人を上回る9,000人が訪れた。

<美食福井フェア> …11/1～30、首都圏88店舗で圏域食材17品目を使用
（そば、越前がれい、甘えび、越前がに、 いちほまれ、越のルビー、上庄さといも、とみつ金時、福井梅、 吉川ナス、
三里浜三年子ラッキョウ、九頭竜まいたけ、ふくいポーク など）
<越前ふくいマルシェ> …10/19～20、参加団体:42団体
（福井市29、あわら市4、大野市3、坂井市2、鯖江市・越前市・
永平寺町・池田町 各1）

【越前ふくいマルシェ】

【美食福井フェア】

ふくい嶺北連携中枢都市圏　令和６年度の主な取組状況

資料1

（1）圏域全体の経済成長のけん引

⑩ 外国人観光客向け情報発信･受入環境整備

- 大阪・関西万博を機に外国人観光客を呼び込むため、ファムツアーによる旅行プランを制作した。海外へ発信するライター等が参加し、福井の食や体験を評価した。
  外国人目線で磨き上げた旅行プランを、万博公式ポータルサイト等へ登録して活用する。
- 多くの外国人が旅行の参考とするウェブサイト「Japan-guide.com」へ記事出稿し、効果的なプロモーションを行った。
- 台湾での販路拡大やインバウンド増を図るため、台湾において、大手旅行代理店を訪問して観光素材をプレゼンテーションするなど、福井の観光と食材のPRを行った。
- 外国人観光客が利用する店舗等において、看板・メニューなどの外国語表記や無線LAN対応等を支援する補助事業を実施した。

<店舗等への外国語表記等対応を支援する補助事業>
補助事業者:4市町10事業者
（福井市4、大野市1、坂井市4、永平寺町1）

【外国人向け訪日観光ウェブサイト】

【台湾での観光・食材PR】

（2）高次の都市機能の集積･強化

⑭ 地域のために働く人材の育成　新

- 大学等への進学を予定している高校生を対象に、製造業、情報通信業、金融・保険業と業種ごとに3つのコースで、計9社の企業訪問を実施し、7市町25人の生徒が参加した。
- 活動内容をホームページ等で公開した。さらに福井新聞社が発刊する「ふくいお仕事図鑑」に掲載して広報する予定。

<企業訪問> …7/31,8/7,9、参加者数:25名
（福井市9、鯖江市7、越前市5、あわら市・坂井市・永平寺町・池田町　各1）
※高校別
（金津高3、鯖江高8、藤島高1、福井商2、武生高4、武生東高3、福井高4）
訪問企業数：9社（福井市6、越前市3）

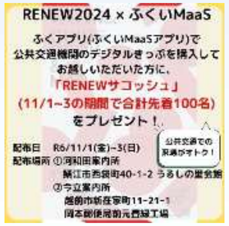
【企業訪問ツアー】

⑪ 二次交通の利便性向上
㉞ 公共交通利用促進

- 北陸新幹線福井開業後の移動ニーズに対応する二次交通の充実と地域公共交通機関の利用促進を図るため、ふくいMaaSアプリの利用推進と機能向上を行った。
- 平日土日の指定便やサンドーム等大規模イベント時にお得に乗車出来る臨時列車切符や、圏域市町のイベントとコラボした電子企画切符の販売を行った。

<市町イベントとコラボした電子企画切符>
5月:三国まつり(坂井市)，7,8月: デジタルゴッホ展(福井市)
8月:大燈籠ながし(永平寺町)
10月:重機パーク･産業と食彩フェア(大野市)、
FUKUI COFFEE FESTA(福井市)
11月:Renew(鯖江市、越前市、越前町)
12月:福井屋台村(福井市)

- MaaSアプリの周知や利用推進を図るため、福井大学の学生がMaaSの企画切符を活用したモデルコースを検討した。
- 産官学金言のオール福井によるMaaS協議会の取組を、内閣府が実施する「Digi田甲子園2024」にエントリーした。書類選考による予選を勝ち上がり、本選へ進出している。(内閣府HPで2/16までインターネット投票受付)



【アプリによる電子企画切符の販売】

【Digi田甲子園2024】

（3）圏域全体の生活関連機能サービスの向上

⑰ 保育士等研修開催　新

- 保育士等のスキル向上や専門知識の習得を図るため、市町単独で招聘することが困難な専門の講師による研修を、連携市町の公私立園職員を対象に開催した。

<研修会> …開催回数:3回(オンライン)、参加者数:2,602人(見込)
［テーマ］
「不適切な保育」って何？～今の科学に基づいた「適切な」未就学児保育・教育に向けて～」
「安全に配慮しながら豊かな遊びの環境を考える」　など

⑲ 生涯学習推進

- 多様な学習機会の提供と高齢者等の生きがいを目的に、豊富な経験や知識・技能を有する高齢者等を講師として、圏域市町間で派遣を行った。 <高齢者等講師の派遣>…派遣数:3市町66回（福井市62、鯖江市3、越前市1）
- 圏域住民を対象に様々な分野の学びの機会を提供する市民公開講座を開催した。

<市民公開講座> …開催回数:2回、参加者数:7市町248人
（福井市227、坂井市10、越前市6、大野市2、鯖江市・あわら市・永平寺町　各1）

［テーマ］
- 「人工知能は天使か悪魔か～人類とAIの近未来～」
- 「夢を持ちつづけること」（福井ﾌﾞﾛｰｳｨﾝｽﾞ）

【市民公開講座】

⑳ 図書館相互利用サービス　新

- 各市町立図書館の利用資格者を圏域内の住民に拡大する図書の相互利用の実現に向けた検討会を開催し、その効果や課題について協議した。
  また、施設の利用促進のため、11市町27図書館を紹介するパンフレットを作成し、連携してＰＲに取り組んだ。
- 次年度も相互利用に向けた検討を進める。また、講演会や企画展示等のイベントを連携して開催する。

㊴ 移住促進･首都圏等情報発信強化

- 圏域の暮らしやすさをＰＲし、交流・移住の促進を図るため、首都圏等での交流・移住イベントに共同出展し、圏域市町のブースに計162組216人が来場した。

<交流・移住イベント> …7月:大阪、10月:名古屋、12月:東京、
来場者数(圏域市町ブース):9市町162組216人
(福井市42組58人、大野市17組21人、勝山市3組3人、鯖江市15組20人、あわら市20組29人、坂井市14組19人、永平寺町28組33人、南越前町9組15人、越前町14組18人)

- 圏域内の魅力をＰＲするため、福井市・勝山市・永平寺町を巡る移住体験ツアーを新たに開催し、3組12名が参加した。

【交流・移住イベント】

【移住体験ツアー】